

## 夜窓

拭い去れぬこの闇の静寂を  
握りしめ  
人々は温もりの中に、灯りの下  
身を寄せ合い

抒情の寒さに胸を抱き  
日射しの暖かさに目を細め  
鍵盤さえもが僕を拒み  
なす術もない夜の長さ

こぼれ落ちる滴をコップに受け  
飲み干し  
運命の僕への嘲笑が流れを  
せき止める

くず折れて窓ガラスに顔を当て  
感情を流し  
弱々しくも、みすぼらしくも  
生きようと思う

(1985.4.20)